

令和3年度第1回 隠岐航路振興協議会 議事概要

日時：令和3年11月5日（金）14：30～15：45

場所：隠岐の島町役場 1階 町民ホール

出席者：（会長）隠岐の島町 池田町長

（副会長）西ノ島町 升谷町長（代理：濱田副町長）

（委員）海士町 大江町長、知夫村 平木村長、隠岐支庁 三島支庁長、
地域振興部 藤井部長、隠岐の島町 池田議長、海士町 亀谷議長、
西ノ島町 仲吉議長、島根県 吉田議員、隠岐汽船（株） 木下社長

欠席者：（委員）知夫村 横川議長

1. 協議事項

1) 現行の船隻体制を維持した場合の持続可能性の検証について

<現行の船隻体制を維持した場合の持続可能性の検証について>

-主な内容は以下のとおり-

■ シミュレーションの前提条件とパターンの整理について

- シミュレーションの前提条件については、成り行き推計（悲観シナリオ）と目標推計（楽観シナリオ）の2つのシナリオで分析を行ってきたが、今後は目標推計（楽観シナリオ）に絞って検証を進める。
- 船隻体制については、現行の体制（3-1体制）と2-1体制の2つのパターンで試算を行ってきたが、今後は現行の体制（3-1体制）を維持していくことを前提として検証を進める。
- 超高速船の更新についても、シミュレーションに反映させる。

■ 代船建造方式の試算条件について

- フェリー「しらしま」については、隠岐汽船（株）による自社建造とし、可能な範囲で自己資金を充てる条件で試算する。
- 過疎債の償還期間（12年 or 30年）については、現実的に可能であれば、シミュレーションを見直すこととする。